

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：和洋亭 ぶざん
 柴田郡大河原町字新南25-18
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫
 副会長：樽見 正仁
 幹事：佐藤 能文
 副幹事：丸山 勝利
 広報・ICO
 委員長：津田 政行
 副委員長：岩間 範男
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017~2018年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区
2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2017年11月2日(木)第2437回例会

会長あいさつ

会長 村上 則夫



皆さんこんにちは、本日は仙台青葉ロータリークラブからインターアクト委員という事で鈴木博様ようこそお出で頂きました、有難うございます。後ほどスピーチ宜しくお願い致します。

先ず今月初めての例会ですので、誕生会員と結婚会員をご紹介いたします。初めに誕生会員です、11月15日、高橋大志会員・11月21日、鈴木孝典会員、続いて結婚会員を紹介します、11月2日、武山雄二会員・11月10日、遠藤文博会員・11月18日、原田真会員・11月18日、本木拓也会員・11月21日、紺野清幸会員・11月22日、佐々木由美子会員です、おめでとうございます。

今月は、ロータリー財団月間そして11月5日から12日まで世界インターアクト週間と云う事になっております。その週間に合わせまして鈴木様にお越し頂いたという事でございます。先ずもって先週の水曜日、藤崎三郎助ガバナーの3クラブ合同公式訪問に多数の会員の皆様にご参加頂きまして誠に有難う御座いました、当クラブからは30名の出席という事で、写真も出来上がっておりますので、来週の例会で皆さまの手元にお渡ししたいと思います、そして今週の日曜日社会奉仕委員会が担当としまして、オータムフェスティバルに於いてポリオ撲滅の募金活動を行いました、会員19名の皆様にお集まりいただき、あいにくの雨ではございましたが、その雨が幸いしてか寒かったこともございまして昨年以上の豚汁を提供することが出来ました、募金も昨年以上に集まっているのかなと思っております。それと会員の皆様にご負担いただいた5,000円の内2,500円を食材等に出し、残りの半分を募金して頂いた事にして財団の方にお送りしたいと思いますので皆様どうぞ宜しくお願い致します、それから今月24日の金曜日に武藤ガバナー補佐の提案でございました5クラブの合同例会を開催することになりました、桜フローラで行いますので是非こちらの例会の方にも会員皆様多数のご参加をお待ち申し上げまして挨拶と致します。



幹事報告

幹事 佐藤 能文

皆さん今日は、改めましてオータムフェスティバルに雨の中ご協力頂きました会員の皆様本当にありがとうございました、そしてまた会長の方からも話がありましたけれども、移動例会という事でおおがわら天然温泉いい湯の方で11月16日、そしてまた11月24日には5クラブ移動例会という事で桜フローラで初の試みという事になります、今年のテーマは変化をもたらすという事で、武藤ガバナー補佐も力を入れているようですので皆さんご出席の方宜しくお願い申し上げます。

各委員会より報告

社会奉仕委員会から報告 吉田茂委員長



社会奉仕委員会から御礼とご報告をしたいと思います。10月29日のオータムフェスティバルに対しまして、本当に早朝そして悪天候の中多数の会員の皆さんにご参加頂きましてありがとうございました、お陰様で会長よりお話がありました通り盛大な催しだったと思います、また豚汁を200円で販売したところ11時前に完売致しましてその後もリピーターの方よりありませんかという事で差し上げた方もおりましたが、豚汁が無くなっても来て頂いた方もおりました大変感激しております、またポリオ撲滅の募金という事でお話ししましたら、ある奥様が大変良いことですねと評価して頂きましたので、次年度もまた是非お願いしたいと思います。

更に会員からご寄付頂いた金額と豚汁販売のトータルで124,300円ほどになりました、これから食材を引きますと77,000円ぐらいになりましたので、それをポリオ撲滅の方に募金致します、皆様のご協力に感謝して報告と致します。

米山BOXの報告 藤江裕佳里委員長

小田部晃二郎会員 少しずつ積立します。

八島幸夫会員 少しずつ積立します。

スマイルBOXの報告 森徹委員長

鈴木宏様 お声がけいただきありがとうございました。

武藤茂会員 先日は私の母の葬儀に際しましては丁重なるご焼香ならびにご厚情を賜り、ありがとうございました。

八島幸夫会員 地区インターアクト委員会委員の鈴木博様を歓迎します。次回都合により欠席します。

村上則夫会員 ゲストスピーカー、インターアクト委員会鈴木博様スピーチ宜しく願います。

岡崎隆会員 結婚の記念品ありがとうございました。

本日のスピーカー鈴木様にも重ねて感謝申し上げます。

佐藤能文会員 鈴木様スピーチ宜しく願ひ致します。

森徹会員 地区インターアクト委員会の鈴木様スピーチありがとうございました。

出席の報告 櫻井俊寛委員長

11月2日の出席の報告を致します、本日早退の方が数名いらっしゃいます、出席は23名で63.89%でございました、以上でございます。

インターアクトについて

2520地区 インターアクト委員会 委員 鈴木博様(仙台青葉RC)



皆さんこんにちは、只今ご紹介頂きました、2520地区の青少年奉仕委員会の中のインターアクト小委員会の委員を拝命しております仙台青葉ロータリークラブ所属の鈴木博でございます、どうぞ宜しくお願い致します。

本日お呼び頂まして有難う御座いました、と申しますのは幹事さんと細かくお話ししていなかったのですけれども、非常に期待して来た訳でございます、インターアクトについて話して欲しいという事で、いよいよ大河原ロータリークラブさんもインターアクトクラブを作って頂けるのかなと期待して参ったのですけれども、まだその様な事ではなくて11月5日はR Iのインターアクト週間という事でインターアクトについて勉強したいという事でお話しがありましたので、今日は馳せ参じた訳でございます。

先ほど聞きました 2437 回ですか例会の回数という事で、私共の仙台青葉ロータリークラブは 25 年前に出来まして 1212 回目を今行っている訳ですから、大河原さんは 50 年ぐらいに成る訳ですね、その様な事で伝統の有る大河原ロータリークラブさんですのでインターアクトクラブが有ってもおかしくないのかなあと思っておりますけれども、この話はずうっと続きますので、有ってもおかしくないのかなあと何回も出てきますのでひとつ宜しくお願い致します。ましてや、全国的にも有名な大河原商業高等学校が有り、そこに I. A. C. を提唱して戴きたいと思うからです。そんな思いを胸に、I. A. C. の地区内での働きと青少年奉仕を含めお話しさせていただきます。

まず、勉強という事に成りますとロータリーの原理原則、ロータリーの不易流行について少々話さねばなりません。私が仙台青葉 RC の創立会員として入会いたしましたのは、1992 年、平成 2 年でした。以来四半世紀が経ってしまいました。ロータリーの歴史は皆様ご存知のように、一業種一会員、職業倫理の個人的資質の向上、業界活動での指導的役割を凶ろうと言う高邁な目的を持って生まれました。基本は単なる遊びの親睦団体ではなく、個人が切磋琢磨し、お互いを高め合っていこうとする、個人の親睦団体です。お互いの取引の中で互恵的な面もありながら、取引の適正化をサービスという言葉にしました。会員同士の理解からクラブ奉仕、倫理的な面から職業奉仕という概念が生まれてまいりました。その後、シカゴでの公衆トイレの設置が原点となる社会奉仕、国際間のクラブ交流に伴う国際奉仕と発展していく訳です。

社会奉仕の一部として扱われていた青少年奉仕も時代と共に、特にクラブ間留学生や、マッチングプロジェクト等々で発展途上国は勿論、次世代への支援の必要性から、1990 年代に入り、単独での奉仕部門、新世代奉仕という第 5 の奉仕の独立が考えられるようになり、98 年規定審議会でも新世代奉仕部門が決議されました。今は、青少年奉仕と呼ばれていますが、社会奉仕、国際奉仕と切り離して考えるものでもないのです。CEP の中で奉仕 Pro. として考えても良いかと思えます。一応、取り組むべきプログラムとして、I. A. C. RYLA, GSE. が推奨プロジェクトとしてあります。このほか財団、国際奉仕委員会との関連で、親善留学生、長期・短期交換留学生制度等青少年に関するプログラムがあります。青少年奉仕部門が担当する年代は、12 歳から 30 歳までです。(以前は 13 歳からでした) 中学生から青年までです。

それでは、日本の本題 I. A. C. についてお話しいたします。対象年齢は 12 歳から 18 歳ですので、中・高校生という事になります。クラブの母体は、学校単位、地域単位で創る事ができます。勿論 RC のプログラムですので、提唱ロータリークラブが必要です。提唱クラブは単独でなくても合同でも OK です。現在 2520 地区には 34 クラブ (岩手 21、宮城 13) あります。全て学校単位のクラブです。因みに日本での I. A. C. 結成第 1 号は、仙台育英学園高等学校 I. A. C. です。タッチの差で (1 日早く) で日本初の I. A. C. になりました。内部構成は生徒会会員参加型、生徒会 I. A. C. 委員会方式、クラブ活動の一つ、と様々です。推奨は生徒会 I. A. C. 委員会が掌握し易く、活動もし易いようです。提唱クラブの役割は 1 に資金援助、2 に交流参加、3 に口出しせず、自主運営を見守る忍耐力、4 に休止する勇気と決断です。

次に、何故 RC に青少年奉仕が必要かといえ、ロータリアンも高齢化が進み、80 何歳まで生きねばなりません。そこでぴんぴんコロリと御迎えを迎えられるよう肉体、精神の鍛練を致さねばなりません。これからの若者は、私共と同じような道を進む訳です。高齢者と関わる事若者の気持ちを知らると同時に、若者にも、同じような長い人生を意味あるものにして頂きたいのです。また、そうやって貰う事が、又、私共の責務でもあります。高齢者にとって若者が、生き生きと生活しているのを見ることは、とても嬉しいものです。ましてや、共に活動ができ、共に喜びを分かち合える事は生きがいすら感じさせます。正解は一つではありません。生きてきた時代時代で、決断してきて、今ある年寄りの経験に耳を傾けて貰い、何か感じてもらえれば、高齢者は嬉しいのです。そのような観点から、若者自ら決断、判断の背中を押してあげ、若者を見守る、待つてあげるといふ大きな心を忘れずに、寄り添う事で良いのではないのでしょうか。そんな若者に、出会いたいものです。これが、ロータリアンの喜びとなれば幸いです。活動を通じて我が子、孫とは、また、違った若者と接する事ができます。I. A. C. の生徒達が、社会奉仕・国際奉仕に目覚め、R. A. C. やがてはロータリアンに成長してくれば、更に嬉しい事です。最後に、仙台青葉 RC がお手伝いしているクラーク記念国際高等学校仙台キャンパ

スについて概要をお話いたします。クラーク記念国際高等学校 I. A. C. は単位制、通信制の私立高等学校です。こちらが学校の生徒会活動です。例会は月2回ゼミナールの中で授業の一つです。会員は登録されておりますが、オープンですので、希望者は受ける事ができます。ロータリアンの卓話等もスケジュールに入れて戴いております。自分たちで決めた活動（清掃・青葉まつり・24 時間 TV・児童館行事の手伝い・盲導犬募金活動・オイスカ植林活動など）ロータリーとの共催、（地区行事・クラブ行事）毎月末ロータリークラブ例会への輪番出席で、提唱クラブとの定期的、恒常的交流を続けております。最初の提唱クラブ締結条文には、双方の活動への関わり責任として、5年間の時限締結としてあります。活動不活発の折りは、潔く終結止む無しという不退転の条文が入っております。昨年、一昨年共に、クラブ員全員が、第一志望の所に、進学・就職が来ております。当初は Mr. I. A. C. と思われるロータリアンの関りが、積極的ではない提唱クラブ会員の自覚を起こさせて行くものと思います。生徒達との関りが会員に行き渡る仕掛けは、必ず会員に、若者と接する喜びを与え、見守る意味を判って貰えるものと信じております。是非、行動を起して下さい。

